第 37 回番組審議会 審議議事録

1. 開催日 令和 4 年 9 月 26 日（月） 18 時～19 時
2. 開催場所 タスパークホテル 絢（山形県長井市館町北 6-27）
3. 委員出席 委員総数 : 7 名
欠席委員 : 0 名
出席委員 : 番組審議委員会会長 勝見英一朗
番組審議委員会副会長 齋藤 喜内
番組審議委員 寺嶋 宏武
番組審議委員 村田 裕子
番組審議委員 横山 照康
番組審議委員 清水 幸広
番組審議委員 新野 弘明
放送事業者側出席 黒澤 栄（代表取締役）
高石 仁光（プロデューサー）
山口 良子（パーソナリティ）
4. 議題
 - (1) 代表者挨拶
 - (2) 御審議
 - (3) その他
5. 議事の概要
 - (1) 経過報告
 - (2) ご審議
タイトル：「おらんだの商店街」※（9 月 19 日 放送分）
提 供： 自主制作番組
出 演： 第 113 回「渡源織物」
放 送 日： 隔週 月曜日 午前 10 時～、午後 7 時～ 30 分番組（土日 再放送）
 - (3) 意見交換
 - (4) 次回の放送番組審議会日程についての確認

(2) 御審議

<審議における委員の主たる意見、質疑>

(委員 A)

・ハキハキととても聴きやすい声だった。織物の質感や色などラジオでは伝わりにくい部分があった。あえて、音だけ流せばいいという意図だったのか。もう少し事前にチェックが入ればいいと思う。

(委員 B)

・上手な取材でとても聴きやすかった。音だけの情報のため、取材対象の“紬”が中々イメージしにくかった。作業工程についてももう少し詳しく欲しいなと感じた。

(委員 C)

・仕事でも紬の着物は良く着ている。県外からも工房を見学したいとのリクエストもある。高揚感やワクワク感が伝わってきてよかった。探求心があり質問項目もとても良かった。ただ、色彩や肌触りなどももう少し伝えて欲しいなと思った。取材対象の社長を存じているが、口数が少ない方なのに上手く良いところを引き出すインタビューをしていると感じた。

(委員 D)

・非常にわかりやすい良くまとまった構成になっている。過去から現在、未来に向けて変遷し成長していく様が理解できる良いプログラムだった。地域の可能性、ワクワク感を引き出す番組にしたい。

(委員 E)

・伝統工芸にスポットを当てたのはとても良い企画だと思う。地元以外の方が取材するという事は事前準備も大変だったと思うが大変聴きやすかった。表現で「きれい」という言葉だけでは伝わりにくい部分があるので少し工夫してもらいたい。インタビュー前に、“長井紬”の歴史や背景をまとめて説明すれば理解が深くなったと思う。機織りの音が入っているのはとても良かった。もっとこういう方にスポットを当てて欲しい。

(委員 G)

・総じて好評な意見だが、少し辛口な意見を言わせてもらえれば、その場の雰囲気が少し伝わりにくかった。インタビュー中に感嘆符が多かったので、具体的に伝わりにくい部分があった。もっと深み（掘り下げ、背景）があればなお良かったと思う。

(3) 意見交換

- ・特になし

7. 審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

- ・特になし

8. 審議会の意見の概要の公表

公表方法：自社ホームページへの掲載

公表内容：本議事録

公表年月日：令和4年10月5日（水）

9. その他の事項

次回の放送番組審議会日程について

- ・第38回放送番組審議会 令和4年12月12日（月）開催予定
開場 未定 18:00～